

令和2年度 入学式 式辞

清流長良川にも陽春の光があふれ、早田川の桜も皆さんを歓迎して満開に咲き誇っています。

本日、令和二年度岐阜県立岐阜北高等学校の入学式に際し、PTA会長 加藤 拓真 様をはじめご来賓の皆様、並びに保護者の皆様方のご臨席賜りましたこと、高いところからではございますが、心より御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました361名の皆さん、入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、皆さんのご入学を心より歓迎します。

本日の皆さんの喜びは、皆さん一人一人のたゆまぬ努力の結果ではありますが、温かくまた時に厳しく導いてくださった中学校の先生、励まし合って一緒に学んだ友人、そして何よりも、皆さんの日々の生活を陰に日に支えてくださった家族の方々への感謝の気持ちを、決して忘れないで欲しいと思います。

さて、新入生の皆さんは、今、どのような気持ちで高校への入学を迎えているのでしょうか。

高校生活は、いろいろな意味で義務教育とは異なります。とりわけ、大きな違いは、そのスタートにあります。皆さんは、自分自身の判断で、選択し、努力し、挑戦した結果、本校への入学を果たされました。義務ではなく、自分自身の意思で進む道を選んだのです。これから皆さんが歩む人生は、選択と決断と挑戦の繰り返しです。高校は、まさに、皆さんが、将来の生き方、あり方を考え模索するところであり、今日がその第一歩を踏み出す日です。

皆さんが、本校での高校生活をスタートするに当たって、お願いがあります。

一つ目は、挑戦と失敗を恐れないこと。初めての学び、初めて会う仲間や先生、初めての行事や経験に対し、積極的に挑戦し、試行錯誤し、時には失敗をして涙を流してください。その経験が、皆さんを大きく成長させます。挑戦することで、今までできなかったことができるようになり、できることで視野が広がり、視界が広がることで、さらに挑戦すべき新たな目標が見えてきます。

皆さんが生きる未来の社会は、グローバル化や情報化がさらに進展し、産業構造も大きく変わると言われています。皆さんが大学を卒業するときには、65%の人が、皆さんが小学生の頃にはなかった職業に就くとの予測もあります。未来を生きる皆さんには、未知の課題に対して、思考力や判断力を働かせて解決をしていく力が求められています。高校での学びにおいて、そういう本当の「学力」を身に付けて欲しいと思っています。

二つ目は、自分とは異なる価値観を尊重し、協力して課題解決に向かおうとする姿勢を持って欲しいということです。これからの社会において、実は最も必要とされる力が、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」だと言われています。

この力は、「非認知能力」とも言われ、テストの点数で測定することができませんが、社会での成功を約束する重要な力だと言われています。この力は、部活動や生徒会活動、文化祭などの学校行事、地域での課題解決学習などを通して磨かれていく力です。また、本当の

友人は、これらの活動を通した学びの中で得られるものだと思います。

さて、正面左手をご覧ください。本校の校訓は、「変わらぬ色の三つ柏 若き生命 高き志操 ペンの象る英知をもちて」と、持ちてどうするのかが、書いてありません。

瑞々しい生命力を持ち、高い志と、聡明な英知をもって、どう生きるのか、何を学び何をなすのか、高校生活の中で、それを皆さん一人一人が自分自身で考え見出して欲しい、そういう願いが込められています。

本日から皆さんは岐阜北高等学校の生徒として、自らの人生を切り拓く第一歩を踏み出しました。そして、厳しい学業も喜びに変え、高校生活を豊かにしてくれるのが今ここにいる仲間達です。この三百六十一名の皆さんが、互いの人格を尊重し、助け合い、高め合える関係であれば、高校生活の意義や喜び、学びの質は倍になり、つらさは半分になるでしょう。

結びに、保護者の皆様におかれましては、お子様が晴れの入学式を迎えられ、感慨もひとしおのことと拝察いたします。本校としましても大切なお子様を3年間お預かりすることに身の引き締まる思いであり、職員一同、精一杯努力していく所存でございます。何卒、本校の教育方針にご理解を頂き、様々な教育活動に対しご支援、ご協力をいただきますことを心よりお願い申し上げます。

新入生の皆さんの高校生活が実り多きものになることを願い、令和2年度入学式の式辞といたします。

令和2年 4年 8日

岐阜県立岐阜北高等学校校長 鈴木 健